

# 都市祭礼と中世京都

## 表象と実像

かわうち まさよし

河内将芳著

▼A5判・上製カバー・368頁 定価四、九五〇円



中世都市京都における祇園会などの祭礼の意味を、文献史料と絵画史料の双方を読み解き、互いの相違点と共通点にも注目しつつ考察する。

2024年6月刊行

### 【目次】

序にかえて

#### I 戦国期祇園会のすがたをもとめて

- 第一章 戦国期京都の祇園会と絵画史料  
——初期洛中洛外図を中心に
- 第二章 祇園少将井御旅所と神子
- 第三章 室町・戦国期京都における公家衆・衆庶の祇園会見物について
- 第四章 足利義輝の祇園会見物について  
——天文十七年六月十四日をめぐって
- 補論 祇園会霞天神山について  
——「永正年中」の「霰」をめぐって

- 第十一章 十六世紀京都の風流踊にみえる二人の人物像について  
——初期洛中洛外図を中心に
- 第十二章 新在家声聞師について
- 第十三章 文禄年間の「唱門師払」について
- 補論 文禄三年三月十三日 京都四条坊門通高倉と万里小路間之町月行事弥七・久蔵連署請文  
——文禄年間の「唱門師払」に関する一史料

#### IV 都市祭礼の周縁人

- 終にかえて
- 成稿・原題一覧
- あとがき
- 索引

終にかえて

成稿・原題一覧

あとがき

索引

#### ◆著者略歴

河内将芳(かわうちまさよし)

一九六三年大阪市に生まれる。一九八七年京都府立大学文学部卒業。一九九九年京都大学大学院博士課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。一九八七年甲南中学・高等学校教諭。二〇〇一年京都造形芸術大学芸術学部専任講師。二〇〇三年同助教授。二〇〇五年奈良大学文学部助教授。二〇〇七年同准教授。二〇一〇年同教授。現在に至る。主な著書に、『中世京都の民衆と社会』(思文閣出版、二〇〇〇年)、『中世京都の都市と宗教』(思文閣出版、二〇〇六年)、『祇園祭の中世——室町・戦国期を中心に』(思文閣出版、二〇一二年)、『絵画史料が語る祇園祭——戦国期祇園祭礼の様相』(淡交社、二〇一五年)、『戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に』(法藏館、二〇一九年)、『室町時代の祇園祭』(法藏館、二〇二〇年)などがある。

#### II 室町期祇園会のすがたをもとめて

- 第五章 室町期祇園会における船と定鉢について  
——室町期祇園会のすがたをもとめて
- 第六章 中世の山口祇園会と京都祇園会  
——大内氏の在京をめぐって
- 第七章 『月次祭礼図屏風(模本)』に描かれた室町期祇園会
- III 御霊祭・稲荷祭の戦国期
- 第八章 戦国・豊臣政権期京都の御霊祭——文禄五年を中心に
- 第九章 戦国期稲荷祭に関する二、三の問題  
——大永八年の稲荷・東福寺喧嘩をめぐって
- 補論 「神輿に立つ矢」について
- 第十章 元亀四年の稲荷祭——「御鬮」を取る

法藏館

定価 四、九五〇円

住所

河内将芳著

都市祭礼と中世京都

表象と実像

お電話

お名前

注文書

(書店印)

ご担当

様冊

ISBN: 978-4-8318-6287-7 C1021

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・中世